

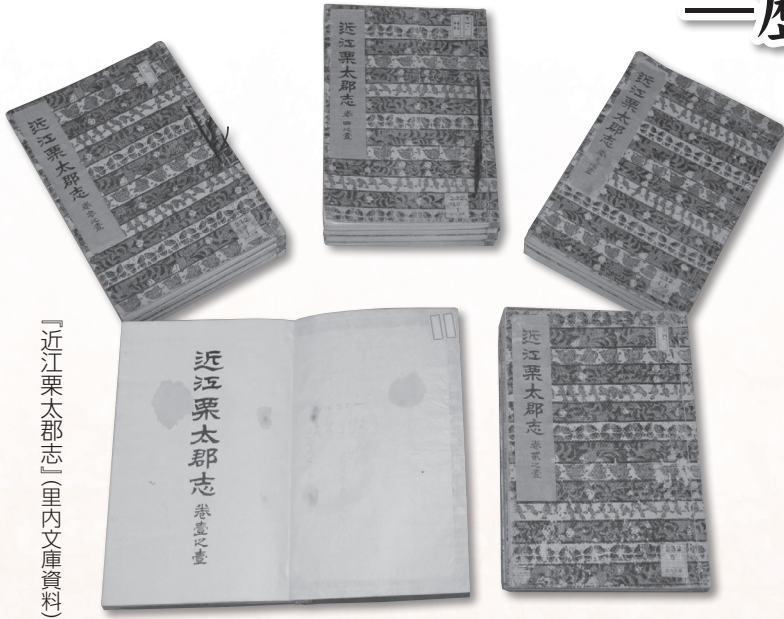
# 『近江栗太郡志』100年

## —歴史家たちの記憶—

### 栗太郡の歴史を紐解く地誌 『近江栗太郡志』

私たちが暮らす近江（滋賀県）は、古代より日本史の舞台にたびたび登場し、交通や政治の重要な役割を果たしてきた土地です。特に現在の栗東市を中心とした栗太郡（栗東市、草津市、大津市の瀬田川より東側、守山市南部など）は、古代から近江の中心地として栄え、多くの歴史や文化を今に伝えていきます。

そんな栗太郡の歴史を紐解く上で欠かせない地誌『近江栗太郡志』が、令和8年（2026）に刊行から100年を迎えます。



『近江栗太郡志』(里内文庫資料)

### 郷土を見つめた歴史家たち



中川泉三 近影  
（「企画展 近江の歴史家群像」より転載）

滋賀県を代表する歴史家として知られる中川泉三（1869～1939）をご存じでしょうか。坂田郡大野木村（米原市大野木）で生まれ、在野の歴史家として地方の歴史を掘り起こす活動を続けた中川は、大正2年（1913）に刊行された『近江坂田郡志』をはじめとする数々の業績を残し、近江地方史の研究における礎を築いたものとして、現在でも高く評価されています。中川の地方史研究は、各地の研究者から協力を得ながら史料調査を進めるといふスタイルでした。

中川の研究とその熱意に影響を受け、栗太郡の貴重な資料の収集に尽力したのが、葉山村手原（栗東市手原）の里内勝治郎（1877～1956）です。里内は明治41年（1908）に私立図書館「里内文庫」を設立し、その後、『近江坂田郡志』編さんの中川の論文に触発されて、栗太郡関連の資料

収集に力を注ぐようになりました。大正10年（1921）から始まった『近江栗太郡志』の編さん事業においても、里内は熱心に資料を収集し、その成果を大正15年刊行の『近江栗太郡志』に反映させました。里内の尽力は編さん作業において極めて重要な役割を果たし、その功績は「緒言」（序文）にも記されています。



里内文庫内での里内勝治郎(里内文庫資料)

さらに、里内が生涯をかけて収集した郷土資料は、現在「里内文庫資料」として滋賀県指定有形文化財に指定されており、栗東歴史民俗博物館に収蔵されています。この貴重なコレクションは、栗太郡の歴史と文化を今に伝え続けています。

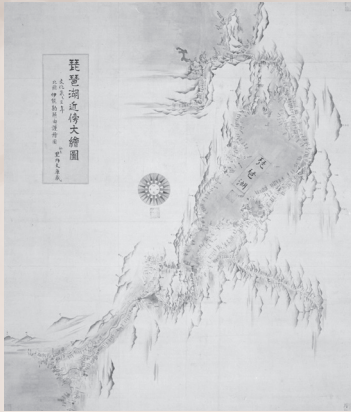
## 「栗太郡史編纂上、逸す可らざる史料」

### ―琵琶湖近傍大絵図―

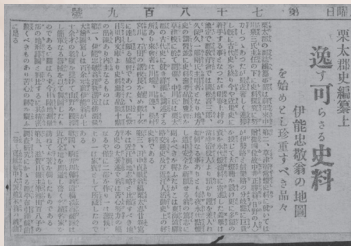
江戸時代を代表する測量家・伊能忠敬（1745～1818）は、日本全国を歩きながら精密な測量を行い、日本初の実測地図として知られる「伊能図」を完成させました。この地図は、驚くほどの精度を誇り、その後の近代地図の礎となったことから、現在でも高い評価を受けています。

そんな伊能図には、琵琶湖沿岸を測量して作成された「琵琶湖図」も含まれています。この地域の歴史的資料として大変貴重である「琵琶湖図」に注目した里内勝治郎は、伊能忠敬の子孫と交渉を重ね、自ら模写を作成しました。これが「琵琶湖近傍大絵図」と呼ばれる地図です。

さらに、大正10年（1921）に『近江栗太郡志』の編さんが開始されると、翌年3月には栗太郡内に残る貴重な資料を集めた展覧会が栗太郡役所で開催されました。この展覧会では「琵琶湖近傍大絵図」も出品され、新聞紙上で「栗太郡史編纂上、逸す可らざる史料」（栗太郡史を編さんする上で欠かせない資料）と紹介されるなど、多くの人々の関心を集めました。



「琵琶湖近傍大絵図」（里内文庫資料）



展覧会を報じる新聞記事  
（里内文庫資料）

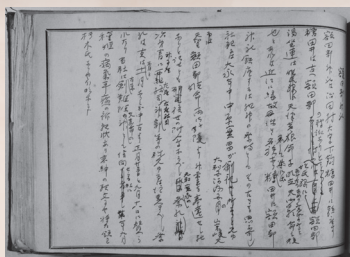
## 『近江栗太郡志』編さん事業の一日

### ―ある日の資料調査―

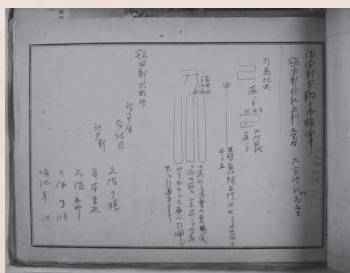
中川泉三による葉山村での資料調査には、里内勝治郎が同行しています。ある日の調査記録によると、中川は8時30分に手原にある里内宅へ到着し、まず系図や絵図の模写を行いました。その後、正午には六地藏の和中散本舗を調査しています。さらに近くにある銅鏡の出土地を訪れた後、昼食は地域の個人宅で取ったそうです。

午後には、高野神社と隣接する松源院を訪問し、大般若経、神像、石灯籠などを調査しました。そして17時からは出庭神社の境内を調査し、18時にその日の調査を終了しています。

こうして中川が丹念に収集した資料は、大字ごとに整理されて綴られました。このような調査を郡内各地で繰り返し、中川は『近江栗太郡志』をついに書き上げたのでした。



「栗太郡志編纂史料」のうち「治田村採集史料」  
（里内文庫資料）



『近江栗太郡志』  
中川泉三手書原稿  
（里内文庫資料）

## お知らせ

栗東歴史民俗博物館では、7月18日(土)から8月30日(日)まで、企画展「『近江栗太郡志』100年 一地方史の記憶を未来へ一」を開催します。ぜひご来館ください。  
（展覧会に関する詳細は、「お知らせ版」8頁、今号の折り込みチラシをご覧ください）

歴史民俗博物館 TEL077-554-2733 FAX077-554-2755